

あなたの街の
ドクターが
アドバイス



漢方薬で治す手足のしびれ。
他の症状が改善することも

「手術をしたのですが、何年もしびれがよくなりません」「しびれていても、年(高齢)だからあきらめています」そんな言葉を聞くことがしばしばあります。しびれには、気がまぎれている時には感じない程度ものから、常にしびれていて痛みもあり、眠れないほどのものまでさまざまあります。

手足のしびれの原因もさまざまで、原因により治療方法は異なります。頸椎(けいつい)椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄(きょうさく)症などの神経の圧迫が明らかな場合には、鎮痛剤や筋弛緩(しかん)薬から開始し、しびれを軽減する薬を使います。それでも痛い、または力が入らない場合は手術を検討します。しびれの改善には時間がかかることがほとんどですが、手術後にもしびれが気になったり、軽かったしびれが加齢とともに強くなることもあります。そして高齢者の場合には、全身麻酔を必要とする手術の適応にならないこともありますし、内服薬の副作用で、ふらつきたり、眠くなったりと日常生活に支障をきたす場合もあります。

手術をしても軽減せず気になるしびれや、内服薬の副作用で治療をあきらめているしびれには漢方薬をお勧めします。漢方薬は、効果が自覚されるまでに時間がかかることがあつたり、食前または食間に内服するという飲み方の決まりや、苦いことなど、いくつかの難点があります。しかし、この先何年も手足がしびれた状態にいるよりは、時間がかかっても気長に自分に合った漢方薬を見つけてみてもいいと思います。飲み方は食後でも、気がついたときでもかまいません。ふらつきや眠気という副作用はないので高齢者にも適しています。漢方薬は全身の状態を改善しながらしびれを軽減するという治療なので、肩こりや尿の出入、足が冷たいなど、しびれ以外の症状も改善することがあります。しびれを軽くして、身も心も軽く快適な生活を送りたいという人は、専門医への相談をお勧めします。

手足のしびれ、あきらめていませんか？

お話ししてくださいました先生



札幌宮の沢脳神経外科病院
脳神経外科

村上 友宏 先生

日本脳神経外科学会専門医。医学博士。1998年札幌医科大学卒業。脳神経外科入局。札幌医科大学脳神経外科学講座助教を経て、2013年4月より現職。専門は脊椎脊髄、末梢神経疾患